

# 履修チェックリスト 別表

履修チェックリストの到達目標(SBOs)に関連する項目として、履修すべき項目を中項目として表に例示した(中項目がないSBOsもある)。(斜字体の文字は、各中項目に関連した小項目)

## A. 補綴歯科診療に必要な基本的知識

GIO: 患者に専門的な歯科診療を提供するために、補綴歯科診療に必要な基本的知識を修する  
SBOs:

- 1. 顎口腔系の構造を説明する
- 2. 顎口腔系の機能を説明する
- 3. 咬合・下顎運動を説明する
- 4. 歯, 歯肉および顔貌の審美について説明する
- 5. 顎口腔系の加齢変化を説明する

SBOs	中項目
1	骨・軟骨
	歯・歯列
	軟組織
	硬口蓋・軟口蓋・口唇・舌・頬粘膜
	咀嚼筋と関連筋
	神経系
	脈管系
	顎関節
	下顎窩, 下顎頭, 関節隆起, 関節腔, 関節円板, 円板後部組織, 関節包, 滑膜・滑液
	靱帯
	唾液腺

SBOs	中項目
2	神経筋機構
	咀嚼
	咀嚼運動経路, 咀嚼周期, 咀嚼能力, 習慣性咀嚼側
	開閉口
	嚥下
	プロセスモデル
	構音
	唾液の働き
	脳機能との関連
SBOs	中項目
3	顎運動
	切歯点運動経路, 下顎頭運動経路
	下顎位
	咬合接触
	咬合力
	咬合様式

SBOs	中項目
4	外形と基準線
	比率と形態
	対称性と多様性
	色調

SBOs	中項目
5	頭蓋, 顎顔面
	顎関節
	唾液腺
	歯・歯列と咬合
	機能
	モデリング, リモデリング

## A. 補綴歯科診療に必要な基本的知識

GIO: 患者に専門的な歯科診療を提供するために、補綴歯科診療に必要な基本的知識を修する

SBOs:

6. 歯質・歯列欠損による障害の病因と病態を説明する
7. 顎顔面欠損による障害の病因と病態を説明する
8. 顎関節症の病因と病態を説明する
9. 摂食・嚥下障害の病因と病態を説明する
10. 身体的社会的要因を説明する

SBOs	中項目
6	歯質・歯列欠損の原因 <i>齲蝕, 歯周病, 外傷, 咬耗症と摩耗症, 侵蝕症, 形成不全</i>
	欠損の分類 <i>部位別分類, 位置的分類(ケネディーの分類), 咬合支持域による分類(アイヒナーの分類), 宮地の咬合三角</i>
	歯列の変化 <i>歯列の連続性の喪失, 咬合接触の喪失, 歯の傾斜, 挺出, 咬合支持様式の変化</i>
	顎堤の変化
	顔貌の変化
	感覚の変化 <i>歯髄感覚の喪失, 歯根膜感覚の喪失</i>
	咬合障害 <i>咬合干渉, 外傷性咬合</i>
	咀嚼障害
	嚥下障害, 構音障害, 歯周組織への影響, 顎関節への影響

SBOs	中項目
7	上顎骨欠損による障害
	下顎骨欠損による障害
	舌欠損による障害
	顔面欠損による障害
	放射線・化学療法後の障害

SBOs	中項目
8	習癖 <i>ブラキシズム, 習癖・異常運動, 姿勢</i>
	疼痛 <i>疼痛の発生メカニズム, 疼痛の伝導路・伝達物質, 疼痛の抑制系, 慢性疼痛, 侵害受容性疼痛, 神経因性疼痛, 心因性疼痛, 関連痛</i>
	心身医学・精神医学的な原因 <i>心身症, 精神疾患・精神障害, 不眠症, 自律神経失調症, 更年期障害, 不定愁訴, 口腔異常感症(咬合異常感等)</i>
	顎関節症の病態 <i>顎関節症, 咀嚼筋障害, 関節包・靱帯障害, 関節円板障害, 変形性関節症</i>
	疫学的特徴 <i>患者数, 年齢分布, 性差, 自然経過</i>
	発症メカニズムと症候, 継発する病態 <i>寄与因子, 顎関節痛, 関節雑音, 開口障害, 顎運動異常, 咀嚼筋痛, 顎関節退行性変化, 咬合異常</i>

SBOs	中項目
9	発症に関わる全身的因子 <i>脳血管障害, 仮性球麻痺, 球麻痺, 脊髄小脳変性症</i>
	発症に関わる口腔領域因子
	器質性摂食・嚥下障害
	機能性摂食・嚥下障害
	加齢による摂食・嚥下機能の低下

SBOs	中項目
10	年齢と身体的機能
	年齢と身体的感覚
	年齢と社会的特徴
	高齢者の社会的特徴
	高齢者の身体感覚
	性別による特徴
	年齢と身体的機能

# A. 補綴歯科診療に必要な基本的知識

GIO : 患者に専門的な歯科診療を提供するために、補綴歯科診療に必要な基本的知識を修する  
SBOs :

- 11. 精神心理学的要因を説明する.
- 12. 必要な機器・材料について説明する

SBOs	中項目
11	歯と心理
	口腔機能とストレス
	顔貌・歯の審美とストレス
	顎機能とストレス
	心身症
	精神疾患

SBOs	中項目
12	検査機器・材料
	顎機能検査機器, 検査用材料
	印象採得用器具・材料
	咬合採得用器具・材料
	フェイスボウ, ゴシックアーチトレーサー
	咬合器
	平均値咬合器, 半調節性咬合器, 全調節性咬合器, 特殊な咬合器
	義歯用材料
	床用レジン, 床用金属, 人工歯
	クラウンブリッジ用材料
	金属材料, 前装用材料, 合着用材料
	インプラント用材料
	生体親和性材料
	技工用機器・材料

## B. 補綴歯科診療の診断，治療に必要な診察，検査

GIO：適切な診療計画を立案するために，必要な診察，検査を選択し，実施する

SBOs：

1. 医療面接を行う
2. 頭頸部の診察を行う
3. 口腔内の診察を行う
4. 模型による検査を行う
5. 必要な顎口腔機能検査を行う
6. 必要な画像検査を指示する
7. 必要な血液検査を指示する
8. 必要なアレルギー検査を指示する
9. 補綴歯科治療に必要な診察・検査からプロブレムリストを作成する

SBOs	中項目
1	主訴
	現病歴
	既往歴
	家族歴
	生活歴
	社会・心理的状况
	生活習慣，習癖

SBOs	中項目
2	顎関節 圧痛，誘発痛，雑音の診察（触診，聴診），下顎頭の可動性
	咀嚼筋 圧痛，誘発痛，関連痛，トリガーポイント
	顎運動 最大開口域，エンドフィール，偏心運動量，下顎運動経路
	その他 頭蓋，顔面，頸部，姿勢

SBOs	中項目
3	歯，歯槽骨 疼痛，咬耗，動揺度，歯周ポケット，楔状欠損，骨隆起
	歯列，咬合接触，下顎位
	口腔軟組織 舌・頬粘膜の歯圧痕，発赤，腫脹

SBOs	中項目
4	研究用模型検査 研究用模型，概形印象，残存歯数，欠損状態，歯冠形態，植立状態，排列状態，咬耗，歯列弓，欠損部顎堤，フェイスボウトランスファー，チェックバイト，調節性咬合器，咬合接触状態，被蓋，咬合平面
	咬合器上での研究用模型検査 咬合接触，被蓋，咬合平面

SBOs	中項目
9	Patient-oriented medical record

SBOs	中項目
5	咬合接触検査
	咬合様式の検査 咬合様式，誘導様式
	咀嚼機能検査 主観的・客観的
	下顎運動検査
	筋機能検査
	構音機能検査 パラトグラム，語音明瞭度，調音点
	嚥下機能検査 反復唾液飲みテスト，改訂水飲みテスト

SBOs	中項目
6	デンタルエックス線写真
	パノラマエックス線写真
	顎関節単純撮影エックス線写真
	コンピュータ断層撮影法
	磁気共鳴撮像法（MRI）
	エックス線透視画像（VF） 嚥下造影，唾液腺造影
	内視鏡画像（VE）
	その他 超音波画像

## C.補綴歯科診療の診断

GIO：患者個々の状態に対応した補綴歯科診療を行うために，検査結果を基に治療計画を立案する

SBOs：

1. 歯質欠損患者の難易度\*<sup>1)</sup>を評価する
2. 部分歯列欠損患者の難易度\*<sup>1)</sup>を評価する
3. 無歯顎患者の難易度\*<sup>1)</sup>を評価する
4. 顎関節症の鑑別診断を行う
5. 顎顔面欠損患者の難易度を評価する

( \*<sup>1)</sup>「歯の欠損の補綴」ガイドライン(Minds掲載，日本補綴歯科学会編，2008)の症型分類に準ずる)

SBOs	中項目
1	歯髓の有無
	残存歯質
	歯列不正・位置異常
	齲蝕罹患傾向
	歯周疾患

SBOs	中項目
2	部位別分類
	位置的分類
	咬合支持域
	症型分類 口腔の条件，身体社会的条件，口腔関連QOL，精神医的条件

SBOs	中項目
3	無歯顎堤の分類 顎堤弓の形態，顎堤吸収程度
	顎間関係の分類 上顎前突，下顎前突，顎堤の平行性および対向関係
	パーソナリティーの分類
	症型分類 口腔の条件，身体社会的条件，口腔関連QOL，精神医的条件

SBOs	中項目
5	上顎欠損の分類 HS分類
	下顎欠損の分類
	舌欠損の分類
	顔面欠損の分類 FC分類

SBOs	中項目
4	咀嚼筋障害(顎関節症Ⅰ型)
	関節包・靱帯障害(顎関節症Ⅱ型)
	関節円板障害(復位を伴うもの)(顎関節症Ⅲa型)
	関節円板障害(復位を伴わないもの)(顎関節症Ⅲb型)
	変形性関節症(顎関節症Ⅳ型)
	Ⅰ～Ⅳ型に該当しないもの(顎関節症Ⅴ型)
	発育異常 下顎関節突起欠損，下顎関節突起発育不全，下顎関節突起肥大，先天性二重下顎頭
	外傷 顎関節脱臼，骨折(関節突起，下顎窩)，捻挫(顎関節部)
	炎症 化膿性顎関節炎，関節リウマチおよび関連疾患，外傷性顎関節炎
	退行性関節疾患あるいは変形性関節症
	腫瘍および腫瘍類似疾患

# C.補綴歯科診療の診断

GIO：患者個々の状態に対応した補綴歯科診療を行うために，検査結果を基に治療計画を立案する

SBOs：

- 6. 摂食・嚥下障害の程度を評価する
- 7. 必要な前処置を選択する
- 8. 適切な補綴治療方法を選択する
- 9. 適切な補綴治療計画を立案する
- 10. インフォームド・コンセントを実施する
- 11. 医療連携を行う

SBOs	中項目
6	摂食・嚥下能力のグレード(藤島)

SBOs	中項目
7	予防的前処置
	TBI
	外科的前処置
	抜歯, 骨形成, ティッシュマネージメント
	保存的前処置
	歯冠修復, 充填処置, 歯周病処置
	矯正的前処置
	MTM
	補綴的前処置
	粘膜調整, レストシート形成, ガイドプレーン形成, リカウンツアリング



## D. 補綴歯科診療の治療・管理

GIO: 患者のQOL向上・維持のために, 治療計画に基づいた補綴歯科診療を実践し, 口腔機能の管理を行う

SBOs:

1. クラウンブリッジによる治療を行う
2. 部分床義歯による治療を行う
3. 全部床義歯による治療を行う
4. 口腔外科, 歯周病, 口腔インプラント専門医と連携し, 口腔インプラント治療を行う
5. 多職種と連携し, 顎顔面補綴装置による治療を行う
6. 装着した補綴装置および口腔機能の管理を行う
7. 顎関節症の治療および管理を行う
8. 多職種と連携し, 摂食・嚥下障害に対する治療および管理を行う.
9. 治療の評価を行う

SBOs	中項目
1	プロビジョナルレストレーション
	部分・全部被覆冠
	審美修復 陶材焼付冠
	メタルフリーレストレーション オールセラミックスクラウン, ハイブリッド型コンポジットレジンクラウン, ラミネートベニア
	接着ブリッジ
	CAD/CAM

SBOs	中項目
2	レジン床義歯
	金属床義歯
	オーバーデンチャー
	アタッチメント義歯 歯冠内, 歯冠外, バー, マグネットアタッチメント, 自家製アタッチメント

SBOs	中項目
3	レジン床義歯
	金属床義歯
	軟質リライン義歯
SBOs	中項目
4	固定性 多数歯欠損, 少数歯欠損
	可撤性 インプラント体支持, インプラント体・粘膜支持

SBOs	中項目
8	装置を用いた治療 PAP, PLP, 嚥下補助床
	摂食・嚥下訓練 間接訓練, 直接訓練
	摂食・栄養状態の管理
SBOs	中項目
9	主観的評価・客観的評価

SBOs	中項目
5	顎義歯 印象, 咬合採得, 装着, 調整, 経過観察
	義顎
	エピテーゼ
	舌口底欠損補綴
	放射線治療補助装置
	外科治療補助装置
	言語治療補助装置
	機能訓練・誘導装置

SBOs	中項目
7	理学療法 物理療法, 運動療法
	薬物療法 消炎鎮痛薬, 鎮痙薬, 抗不安薬・抗うつ薬
	スプリント治療 スタビライゼーションスプリント
	咬合治療

## E. 医療倫理, 感染予防対策, 個人情報保護

GIO: 患者に安心して安全な歯科医療を提供するために, 医療安全, 医療倫理, 感染予防対策, 個人情報保護に配慮した診療を実施する

SBOs:

1. 医療安全に配慮する
2. 医療倫理を実践する
3. 診療室の感染予防対策を行う
4. 個人情報保護に配慮する
5. 関連法規を説明する

## F. EBMの必要性和生涯学習の習慣

GIO: ①高度でかつ適切な歯科医療を提供するために, EBMの必要性を理解する. 医療安全に配慮する

SBOs:

1. EBMの重要性を説明する
2. EBMの根拠資料を検索する
3. EBMを実践する

GIO: ②自己研鑽を積むために, 生涯学習の習慣を身につける

SBOs:

1. 学術大会, 教育研修会等に参加する.
2. 学会発表を行う
3. 症例報告を行う
4. 学術論文を作成する